

LS四国主催「四国の森林活用ダイアログ」開催

- 四国では、急速に進行する人口減少や高齢化、大規模自然災害の発生等が地域資源や住民生活、産業活動に影響を与えはじめている地域課題に対し、**持続可能な地域づくりを進めていくことを目的に、「地域循環共生圏＝ローカルSDGs」**の達成に向けた取組みが重要と考え、この取組みを推進するプラットフォームとして「**ローカルSDG四国**（通称：LS四国、事務局：中国四国地方環境事務所四国事務所・四国EPO、協力機関：財務省四国財務局他）」が設立。
- 令和3年11月25日・12月22日、四国における**持続可能な森林とその生業にかかわる諸課題を把握・共有**するとともに、地域金融機関や自治体、林業従事者等をはじめとする民間企業等による新たなネットワーク形成を目的に「**四国の森林活用ダイアログ～地域金融とのベストミックスによる林業×○○の展開について～**」（主催者：LS四国、協力：財務省四国財務局、持続可能な地域経済社会の活性化に向けた金融庁と環境省との連携チーム）を開催。

課題把握

- 令和3年6月18日、日本一の森林率84%の高知が抱える課題を受けて、「森林活用」をテーマに「持続可能な高知の森林活用ダイアログ」を開催。森林課題に関心を持つ自治体、地域金融機関、企業、大学等が参加（主催：四国EPO、協力：四国財務局、金融庁環境省連携チーム）し、ワークショップを通じて、各参加者が抱える森林課題を把握・共有。

（持続可能な高知の森林活用ダイアログで把握した課題）

- 伐採・輸送コストを下げる方策
- 女性参画へのリーチ
- 木材資源のデータベース化

- 把握した課題を踏まえて、具体的な解決に向けた検討・ネットワーク形成支援に向けて、同年7～9月、各課題提供者へのヒアリングを継続するとともに、11月、12月に「四国の森林活用ダイアログ」を開催。
- 金融庁と環境省との連携チームでは、開催に向けた企画提案、専門的知見を有する登壇者等の調整、参加者等への周知・ネットワーク形成を支援。



<令和3年11月25日>

四国の森林活用ダイアログの概要・成果

- 「四国の森林活用ダイアログ」は、林業分野で活躍する多様な主体（森林活用に長年取り組んでいた元自治体職員、森林×DXに取り組む事業者、政府系金融機関、四国森林管理局、林業従事者等）からそれぞれの知識・経験・施策等の専門分野を説明いただき、各専門家と参加者、参加者同士の対話、課題解決に向けたネットワーク形成を実施。

（実績等）

- 11/25 参加者数：約70名 ・ ダイアログ後のマッチング件数：9件
- 12/22 参加者数：約80名 ・ ダイアログ後のマッチング件数：8件
- 参加者属性：製材所、住宅メーカー、自治体、金融機関、IT企業等
- マッチング事例：自治体×企業、林業従事者×金融機関など

（参加者の声）

- ・ 北海道下川町の未来づくりの事例は、地域住民の参画により、継続的な取組みにつながっており、参考になった。
- ・ 他の業種による森林の活用事例を知ることができ、今後の四国における取組みとして多くの気づきを得た。
- ・ 森林×DXの取組みが進んでいることを実感した。



<ダイアログの様相>